

2018 年度コンクリート技士・主任技士研修会 研修理解度確認テストの結果について

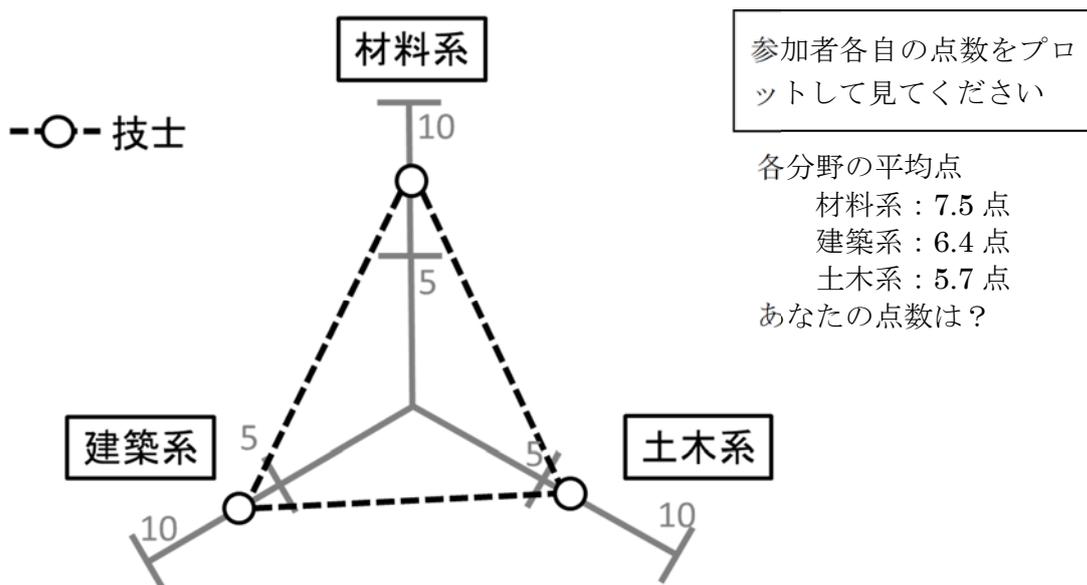
2018 年度のコンクリート技士・主任技士研修では、受講者全員に、「研修理解度確認テスト」を受けて頂きました。

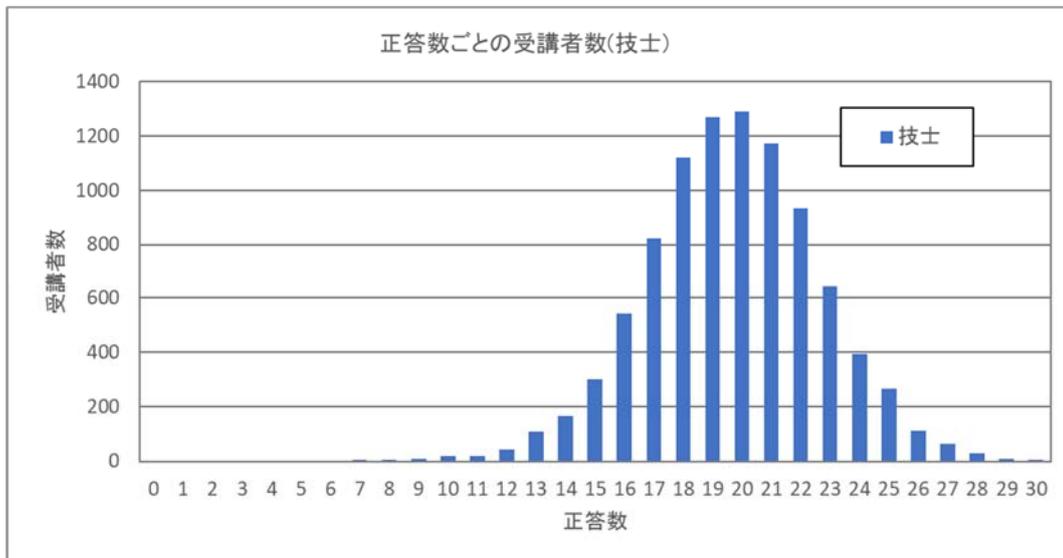
本テストは、当日の研修を受けた上で、コンクリートに関する各自の専門知識レベルを把握していただくとともに、研修内容をどの程度理解したかを確認していただくことを目的としています。

また、昨年度までの「専門知識自己診断テスト」から変更しました理由は、数年後に予定しておりますeラーニングによる研修を、受講者の皆様にイメージしていただくためでもあります。試験の結果については、レベルの差を考慮して、コンクリート技士と主任技士を分けて分析しています。

(1)コンクリート技士

受講者全体(9,390名)での平均点は 19.6 点(30 点満点)、標準偏差は 3.15 点でした。また、出題された問題群を、(1)材料系(問題 1~10)、(2)建築系(問題 11~20)、(3)土木系(問題 21~30)の 3 分野に分類すると、各分野の平均点(10 点満点)は、それぞれ 7.5 点、6.4 点、5.7 点 でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、研修に参加された方々には、各分野の得点(正答数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。

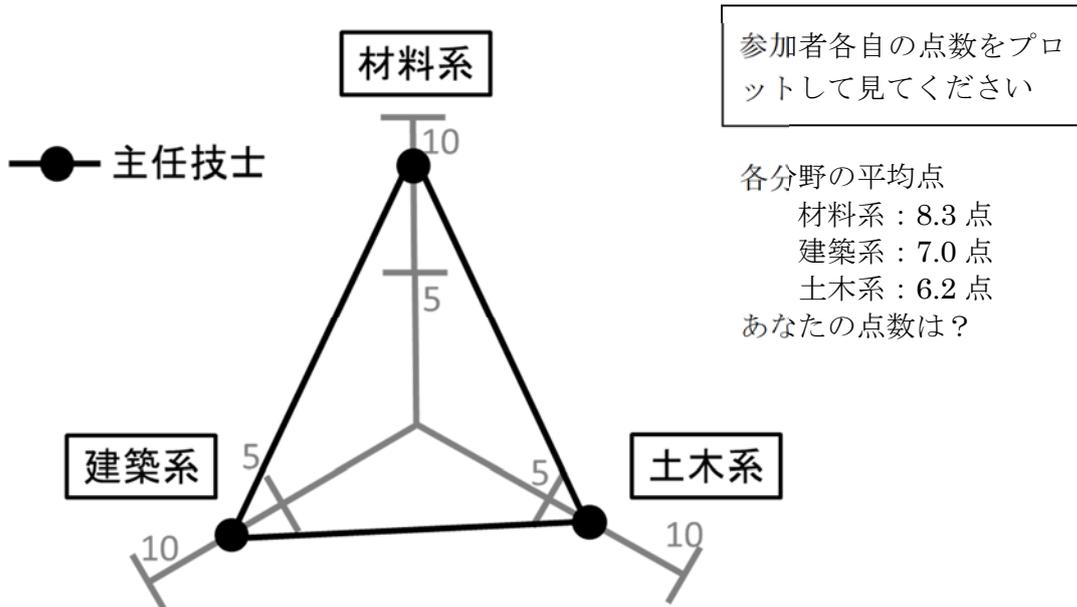


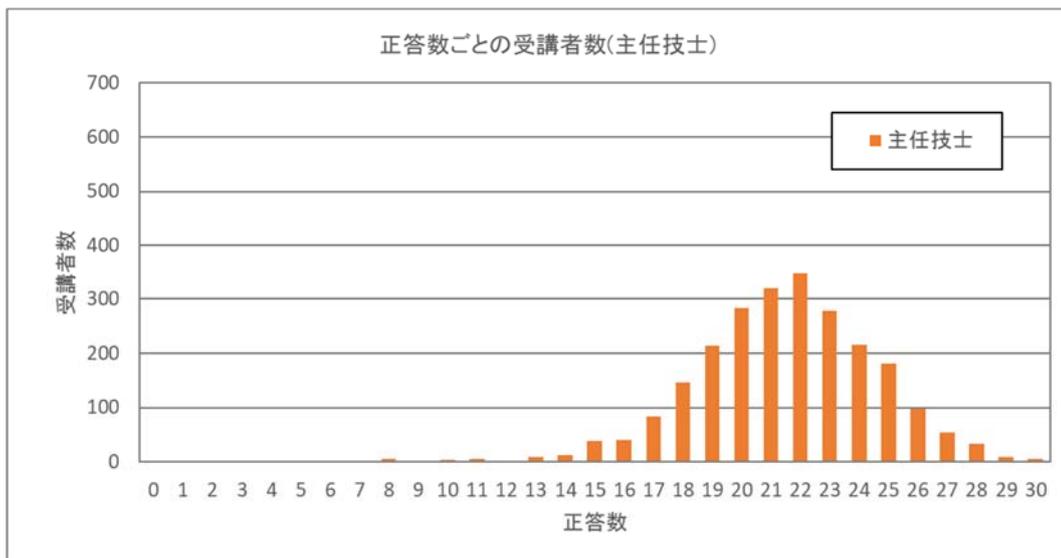


2018年度 正答数ごとの受講者数(コンクリート技士)

(2)コンクリート主任技士

受講者全体(2,389名)での平均点は21.5点(30点満点)、標準偏差は3.18点で、コンクリート技士よりも平均点は1.9点上回りました。また、出題された問題群を、(1)材料系(問題1~10)、(2)建築系(問題11~20)、(3)土木系(問題21~30)の3分野に分類すると、各分野の平均点(10点満点)は、それぞれ8.3点、7.0点、6.2点でした。職種により得手不得手はあると考えられますが、研修に参加された方々には、各分野の得点(正答数)を下のチャートにプロットし、ご自身の現在のレベルを把握して頂き、更なる知識の習得を目指すための参考にして頂ければ幸いです。



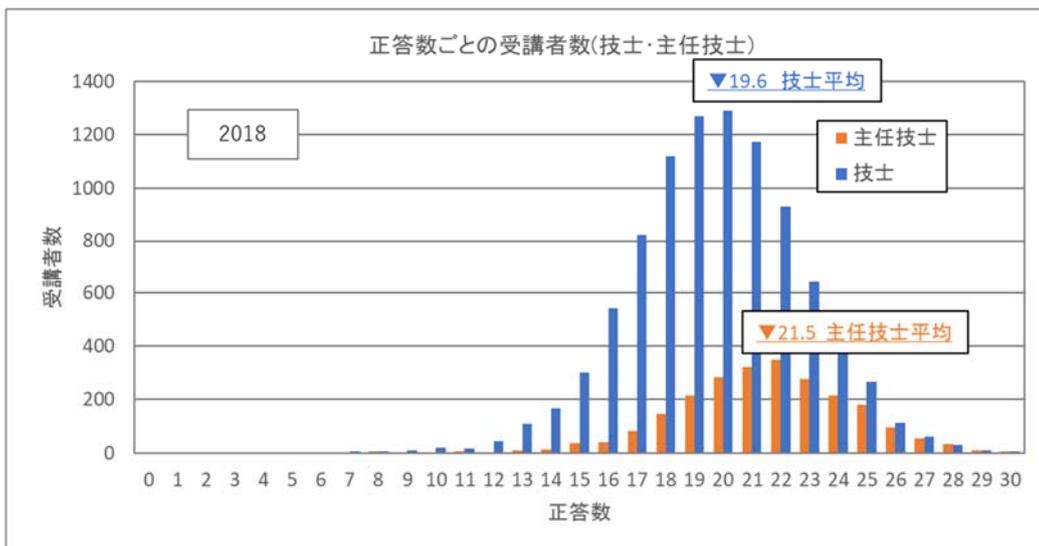
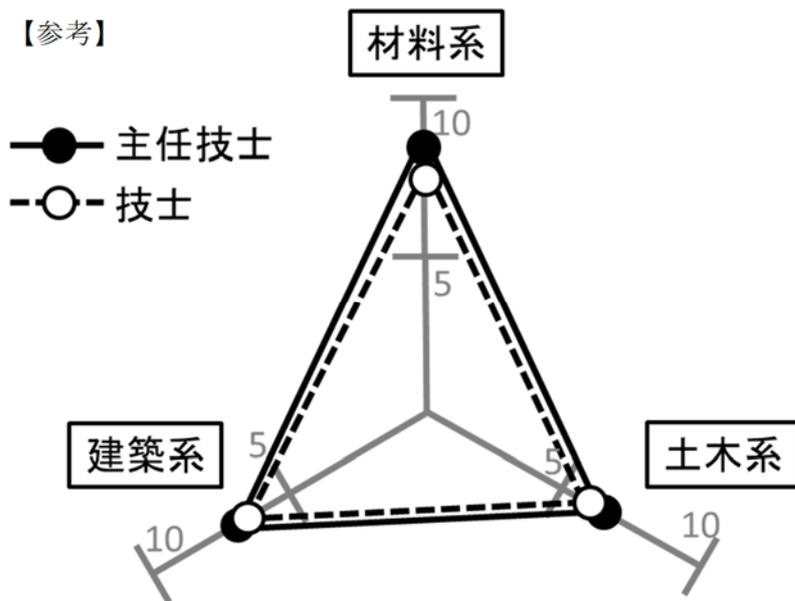


2018 年度 正答数ごとの受講者数(コンクリート主任技士)

年度別の正答数の平均一覧

年度	出題数	対象	合計 30 問での 正答数の平均 (正答率)	標準 偏差	各 10 問での正答数の平均		
					材料系	建築系	土木系
2014	30	技士	18.5 (62%)	3.0	6.6	6.4	5.5
2015			18.9 (63%)	2.9	6.2	6.5	6.1
2016		技士	19.5 (65%)	2.9	6.6	5.5	7.3
		主任技士	21.9 (73%)	2.9	7.5	6.3	8.0
2017		技士	20.3 (68%)	2.9	5.6	6.7	8.1
		主任技士	21.7 (72%)	3.0	6.0	7.1	8.6
2018		技士	19.3 (65%)	2.9	7.5	6.4	5.7
		主任技士	21.5 (72%)	3.2	8.3	7.0	6.2

【参考】



2018年度コンクリート技士・主任技士研修会 研修理解度確認テスト正解

テスト問題に関する問合せ等に対しては、回答いたしません。

問題番号	正解	問題番号	正解	問題番号	正解
1	×	11	×	21	×
2	×	12	○	22	○
3	×	13	○	23	×
4	○	14*	○×	24	×
5	○	15	○	25	×
6	○	16	×	26	×
7	○	17	○	27	×
8	○	18	×	28	×
9	○	19	○	29	×
10	○	20	×	30	○

※ 問題 14 につきましては、問題の表現に誤りがありましたため、○×両方とも正解といたします。